

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たまキッズルーム日野万願寺			
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和7年1月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和7年1月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童のやりたい事や興味のある事を活動に取り入れている。	自由時間を増やし児童同士のコミュニケーションを取れる様に努めています。また、協調性や自己肯定など活動の中から学べる様に職員も一緒に児童の輪に入りながら活動を行っています。	個々の課題となる部分が違う為、職員の実力を伸ばす事が児童の成長へと直接繋がると考えています。職員の研修や事業所内での話し合い、状況を想定したシュミレーション等、充実した職員の育成を図っていく事で、児童の成長する為の手助けとしていく。
2	相談できる体制が出来ている	連絡ノートや送迎時の引継ぎ等で相談や悩みなどを受け付けられるような体制をとっています。事業所に来て頂いてお話をする事も出来る様に環境を整えています。	当事業所に相談する他にも周りに色々な相談支援がある事を周知し、色々な機関を巻き込んだ支援が出来る様に体制を強化していく。
3	交流会や外出イベントを行っている	保護者様参加型の交流会をする事で、保護者様同士の交流が可能である。また、児童はいつもと違う方々との関わりが持て、色々な経験が得られる。他、交流会が終わった後も、お礼を書いて相手に渡す事も児童が考えて作る事がある。職員はちよつとしたキッカケを作り児童を誘導している。	交流会の参加が固定しつつある為、次回以降は、さらに交流会参加する方々を集めていく予定です。興味を持てる様に、様々な方々との交流会を目指していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童のやりたい事や興味のある事を活動に取り入れているが、人員が足りなくて断念してしまうケースもある為、人員を増やしたい。	個々の課題となる部分が違う為、職員の実力を伸ばす事が児童の成長へと直接繋がると考えています。しかし、職員間でも実力差がある為、実力のある職員に負担が掛かってしまい、疲弊してしまう事でより良い支援が出来なくなってしまう事が想定される。	職員の実力を伸ばす為の研修や事業所内での話し合い、状況を想定したシュミレーション等、充実した職員の育成を図っていく事や職員の人数を増やし職員の対応力をつける。
2			
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たまキッズルーム日野万願寺		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和7年1月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和7年1月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童のやりたい事や興味のある事を活動に取り入れている。	自由時間を増やし児童同士のコミュニケーションを取れる様に努めています。また、協調性や自己肯定など活動の中から学べる様に職員も一緒に児童の輪に入りながら活動を行っています。	個々の課題となる部分が違う為、職員の実力を伸ばす事が児童の成長へと直接繋がると考えています。職員の研修や事業所内での話し合い、状況を想定したシュミレーション等、充実した職員の育成を図っていく事で、児童の成長する為の手助けとしていく。
2	相談できる体制が出来ている	連絡ノートや送迎時の引継ぎ等で相談や悩みなどを受け付けられるような体制をとっています。事業所に来て頂いてお話をする事も出来る様に環境を整えています。	当事業所に相談する他にも周りに色々な相談支援がある事を周知し、色々な機関を巻き込んだ支援が出来る様に体制を強化していく。
3	交流会や外出イベントを行っている	保護者様参加型の交流会をする事で、保護者様同士の交流が可能である。また、児童はいつもと違う方々との関わりが持て、色々な経験が得られる。他、交流会が終わった後も、お礼を書いて相手に渡す事も児童が考えて作る事がある。職員はちよつとしたキッカケを作り児童を誘導している。	交流会の参加が固定しつつある為、次回以降は、さらに交流会参加する方々を集めていく予定です。興味を持てる様に、様々な方々との交流会を目指していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童のやりたい事や興味のある事を活動に取り入れているが、人員が足りなくて断念してしまうケースもある。	個々の課題となる部分が違う為、職員の実力を伸ばす事が児童の成長へと直接繋がると考えています。しかし、職員間でも実力差がある為、実力のある職員に負担が掛かってしまい、疲弊してしまう事でより良い支援が出来なくなってしまう事が想定される。	職員の実力を伸ばす為の研修や事業所内での話し合い、状況を想定したシュミレーション等、充実した職員の育成を図っていく事や職員の人数を増やし職員の対応力をつける。
2			
3			